

## General Mindで攻める

### 総合診療と臨床検査：コロナ・アフターケアを踏まえて

大塚 文男

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
総合内科学・教授



総合診療の醍醐味は、潜在する疾患の発見にある。多彩な症状・症候に基づいて症状の元となる病態を疑い、医療面接と身体診察による情報から総合的に病態を解析し、臨床検査や画像診断により確定診断を導いていく。私の専門とする内分泌疾患は、総合診療の臨床に潜在していることが多く、鑑別のための総合的・全人的視点と臨床検査の両者を活かしたGeneral Practiceの力が、その診断の鍵となる。

例えば、倦怠感・食欲不振・体重減少・頭痛・めまい・動悸・浮腫・しびれなど、原因となる臓器の特定に苦慮する不定愁訴に対しては病態的アプローチを行い、医療面接では患者の自覚する症状・病歴を単に聞くのみでなく、診断の鍵となる所見や徴候を探り出す姿勢が必要である。血圧・脈拍や体温の変動、体重や体格・体

型の変化、皮膚の変化や浮腫、貧血や色素沈着、血糖値や脂質の変化、電解質や心電図の異常、骨粗鬆症や精神的変調にも着目し、臨床検査データをもとに全身症状と照合しながら総合的に判断することが重要となる。本講演では自験例を中心に、臨床検査の重要性と総合診療視点の楽しさをお伝えしたい。

また当科では、2021年2月から、倦怠感を中心に味覚・嗅覚障害、頭痛、不安、脱毛、睡眠障害、呼吸苦、微熱など様々な症状を呈するCOVID-19後遺症に対して、コロナ・アフターケア外来を設立して診療にあたっている。総合診療の強みを活かして携わってきたコロナ後遺症の現状とその診療への取り組みについても、あわせて紹介したい。

#### 略歴

1986年3月 福岡県立小倉高等学校 卒業  
1992年3月 岡山大学医学部医学科 卒業  
1998年3月 岡山大学大学院医学研究科 修了  
1999年9月 米国カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部研究員  
2009年5月 岡山大学病院内分泌センター 准教授  
2011年4月 岡山大学病院内分泌センター センター長  
2012年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科総合内科学 教授  
2015年4月～ 岡山大学病院検査部長・輸血部長・超音波診断センター長 併任  
2017年4月～ 岡山大学病院副院長

#### 主な受賞歴

2003年 日本生殖内分泌学会学術奨励賞受賞  
2009年 日本内分泌学会研究奨励賞受賞  
2011年 日本神経内分泌学会学術賞(川上賞)受賞  
2010、2014年 ノボルディスク成長・発達研究賞受賞  
2015年 上原記念生命科学財団研究助成受賞  
2017年 日本ステロイドホルモン学会研究奨励賞受賞

#### 所属学会

日本内科学会(認定医・専門医・指導医・評議員・中国支部運営協議会委員)  
日本内分泌学会(専門医・指導医・評議員・教育責任者・中国支部副支部長)  
日本甲状腺学会(専門医)、日本リウマチ学会(専門医)、日本生殖内分泌学会(理事・評議員)、日本神経内分泌学会(常務理事・評議員)、日本病院総合診療医学会(理事・認定医・指導医・評議員)、日本プライマリケア連合学会(認定医・指導医)、日本ステロイドホルモン学会(理事)、日本間脳下垂体腫瘍学会(理事)、間脳下垂体・副腎研究会(幹事)、副腎腫瘍研究会(幹事)、日本心血管内分代謝学会、日本内分泌病理学会、日本人類遺伝学会、日本東洋医学会、日本抗加齢医学会、日本臨床検査医学会、日本下垂体研究会(評議員)、米国内分泌学会(active member)、欧州内分泌学会

#### 和文著書

文光堂：わかりやすい内科学・臨床循環器学、医学書院：看護大事典・今日の診断指針・今日の治療指針・新臨床内科学・総合診療、診断と治療社：内分秘代謝専門医ガイドブック・下垂体疾患診療マニュアル、朝倉書店：内科学、中山書店：内科学、京都大学出版：卵子学、シュプリンガー：内分泌糖尿病内科学、中外医学社：総合内科で診る内分泌疾患・総合診療グリーンノートなど